

氏名	現住所	生年月日	職	業	他に兼務の役職	活動状況・主な功績
岩永 幾太郎	福島市 杉妻町4-1	明・22・8・25	医	師	前 日本学校安全会安 福島県支部運営審 議会議長	日本学校安全会福島県支部を発足と同時に運営審議会議長として学校安全の推進に努力するとともに、福島県学校保健協会の創設につとめ、理事として学校保健の振興につとめ、児童生徒の健康保持・増進を図った功績が顕著であった。
横須賀 俊	いわき市平 宇杉平21-27	明・14・9・12	無	職	前 いわき市立 植田小学校長	学校給食の教育的位置づけの重要性を深く認識し、卒先として学校給食の指導及び運営にあたるかたわら、学校給食農村普及講習会の講師等として地域社会の食生活の改善につとめた功績は人であった。

## 8. 選手の強化

### (1) スポーツ・センター校

次の高等学校を昭和47年度スポーツ・センター校に指定し、当該種目の強化につとめるとともに、地域へのスポーツの普及につとめた。

地	区	種	目	学	校
県	北	馬術	道	福	島 農 蚕
		弓道	保	福	島 商
		バレーボール	原	保	原 高
		野球	〃	〃	〃
県	南	フェンシング		福	島 商
		自転車 軟式野球 ハンドボール		白 河 農 工 岩 瀬 農 須賀川・長沼分校	
会	津	艇操		喜 多 方 商 業	
		スキー レスリング		会 津 工 猪 苗 代 高 田 島 高	
い	わ	き	剣道 重量 拳	湯 本 高 工 平	

### (2) 各種目強化合宿の実施

昭和47年度スポーツ少年団結成状況

● スポーツ傷害保険加入状況

● スポーツ指導員数

管内	番号	市町村名	スポ少	傷害保険	スポーツ指導員	管内	番号	市町村名	スポ少	傷害保険	スポーツ指導員	管内	番号	市町村名	スポ少	傷害保険	スポーツ指導員
北	1	福島市	19団 (602人)	人 3,117	人 21	中	31	石川町	9団 (329)	811	1	津	61	昭和村		368	
	2	飯野町	2 (58)	183			32	巨川村		89			62	喜多方市	1 (36)	1,510	
	3	川俣町	2 (68)	767			33	平田村	7 (273)	112			63	熱塩加納村		217	
	4	桑折町	2 (51)	1,051			34	浅川町		80			64	北塩原村		119	
	5	伊達町		111			35	古殿町		601			65	塩川町		194	3
	6	国見町	2 (51)	1,352			36	棚倉町	2 (54)	716			66	山都町	1 (23)	519	
	7	梁川町	1 (26)	661	2		37	塙町	13 (551)	1,797			67	高郷村		128	
	8	保原町	6 (117)	1,484	1		38	矢祭町	4 (102)	662	1		68	西会津町	2 (66)	685	
	9	霊山町		1,339	1		39	鮫川村		44			69	田島町	1 (17)	1,525	

財団法人福島県体育協会さん下の競技団体は、競技力向上、国民体育大会の上位入賞を目指し、年間数度にわたる強化合宿を実施し、競技力の向上につとめている。

## 9. 第29回国民体育大会冬季大会スキー競技会

猪苗代スキー団体は、昭和49年2月17日より20日まで全国各地より、2,000余名の選手の参加のもとに大会を開催するが、赤埴大回転コース、70m級公認ジャンプ台・美禰の距離コースの整備も完了し、第46回全日本学生スキー選手権大会をリハーサル大会として開催し、準備に万全を期した。

大会のシンボルマーク・テーマの決定について、草野心平先生の作詩・古閑裕而先生の作曲による「猪苗代国体賛歌」も完成し、県民の国体に対する関心を著しく高まっている。

### (1) 大会テーマ

「秀峰に明日をひらく」・・・秀峰は、福島県の象徴の磐梯山、すなわち、福島を意味し、秀峰磐梯山につどう若人の限りなき躍進によって、福島の明日をひらくと云う願いが込められている。

### (2) シンボルマーク

上部は、磐梯山、下部は猪苗代湖にうつる磐梯山をあらわし、白い斜線で、若人のスピードとそのスピード感を表現している。